

ふるさとのみどり

第40号

発行月 令和2年3月

発行者

千葉市緑化推進協議会

会長 満富 五夫



新時代にあった運営と活動で緑豊かな街づくりに貢献

千葉市緑化推進協議会 会長 満富 五夫

会員の皆さまには、当協議会の運営および活動にご協力いただき有り難く厚く御礼申し上げます。2016年(平成28年)5月より自主運営となり満4年になりますが、無事に活動できていますこと深く感謝申し上げます。

昨年は台風15号や19号の風水害被害などもあり例年以上に厳しい状況がありましたが、元号が「平成」から「令和」に変わり新しい時代の幕開けとなりました。当協議会も時代にあった運営活動をすべく個人会員や賛助会員も入会できるようになり、今年度は会員間訪問や関連団体との情報交換など新しい試みもして参りました。

また、過去の活動実績も当協議会の財産との思いから40年前1979年(昭和54年)12月発行の「ふるさとのみどり第1号」から本第40号まで閲覧できるようホームページに掲載しました。さらに会員間の情報交換を図り、お互いに有効な情報を共有し緑豊かな街づくりに貢献できるよう、新たな仲間も増えるよう皆さまのご協力をお願い致します。

令和元年度の事業紹介(当協議会の動き)

1. 樹木診断会／園芸診断会(随時) 誌面 2頁目に掲載
専門家が会員地区を訪問し直接指導アドバイスをしていただきます。
本年は、「こてはし台自治会」「海浜コートビレジ」「八千代台パークハイツ」の樹木診断会の他、園芸にフォーカスした園芸診断会を「千葉中央フラワーマンション」で実施し、
園芸診断会として出張園芸講習を「千代の台自治会」にて実施しました。 誌面 4頁目に掲載
誌面 3頁目に掲載
2. 視察研修会(年1回) 誌面 2頁目に掲載
緑化意識の高揚と会員相互交流の為、今年度は平成元年10月に「筑波実験植物園」にバスでの視察研修会を実施しました。
3. 園芸講習会(年1回) 誌面 3頁目に掲載
今年度は平成元年10月に、最近流行りのギャザリングという方法で、すぐに綺麗を目標に三陽メディアフラワーミュージアムにて千葉市地域リーダーの会に講師をお願いし実施しました。
4. 緑化推進に関する講演会(年1回) 誌面 4頁目に掲載
緑と花のあふれる街づくり推進の為、園芸病虫害研究の第一人者の草間祐輔氏をお招きし「花の咲く木」と「実のなる木」の育て方と管理というテーマで開催しました。
5. 総会／理事会
第42回通常総会は昨年5月18日(土)に開催、理事会を4月～3月まで10回開催し当協議会の運営をして参りました。
6. その他
本年度は新しい試みとして他の団体との意見交換会の他、会員「海浜幕張コーポ」「ツインエルシティ千葉」「稲毛スカイタウン」へ訪問し情報交換しました。
また、「ふるさとのみどり第40号」も例年通り3月に発行。過去の「ふるさとのみどり」も電子化しホームページから閲覧できるようにしました。

筑波実験植物園 視察研修会に参加して

海浜コートビレジ管理組合 石関 滋

10月3日(木曜日)、7時40分に千葉市役所脇に集合してバスに乗車、週初めの週間天気予報では台風16号の影響で天気が心配されていたが、皆さんの日頃の行いのためか、天気は晴れました。バスは東関東道・圏央道を経由し、途中参加会員の活動報告や先日の台風15号の被害等の報告もあり、貴重な情報交換の場となり、10時少し前には筑波実験植物園に到着しました。

研究員の方が、この施設は上野の国立科学博物館の1部門で科学博物館の役割は①調査研究、②資料の収集・保管、③展示からなっていて、この施設では①と②を行っているとの事でありました。

その後、園内に案内され、まずアペリアの説明では、成長が早く花付きも良く、蜜が多いため蝶・蛾・蜂が良く集まって来ている。そのため、この木の周辺の草花・樹木の花にも昆虫が集まり果実等も良く実るので、庭木を植える時には、花の姿かたち・美しさだけではなく、このような事を考えることも重要との専門家ならではのアドバイスがありました。その後、野生絶滅種のコシガヤホシクサについても教えていただき、新たな知識を得ることが出来ました。

研究員の方には、貴重な時間を我々のために割いていただき、感謝の言葉しかありませんでした。

昼食後は自由視察となりましたが、施設内ではクジラ等の骨格標本が保管されている建物もあり、植物園といえども科学博物館の1部門との印象を受けました。

帰路も渋滞はなく5時前には市役所に到着し、10月の晴天のもと無事視察研修会を終え、家に帰って洗面所の鏡で顔を見ると見事に日焼けしていました。



樹木診断会は“お助けマン”

八千代台パークハイツ管理組合 今井 操

ここパークハイツには30本余の樹齢50年位の桜があり、この会報が出る頃にははじきに綺麗な花を咲かせる事でしょう。敷地には大小の樹木が200本近くあり、又隣接する千葉市の小さな公園にも緑があり、癒される居住区です。

しかし、この樹木にこれまで考えたこともなかった『危機』が持ち上がったのは昨年9月の台風15号の時です。一本のコブシが強風で根本から倒れました。

どの樹にも問題が隠れているにせよ、特に桜は通学路に面している為、今後の異常気象にどのように対処、管理していくかが問われ、理事2人で色々検索する中で千葉市緑化推進協議会にたどり着きました。

昨年12月に入会し、直ぐに樹木医先生の診断を受ける運びとなりました。樹木医先生より幹、枝、葉を示しながらの具体的な説明に理事有志一同、大いに納得の2時間で安心することができました。

「緑」は温暖化防止に大きな役割を果たしたり、生物を育むなどの人間の生活に大切なものですが、気候変動の昨今、時として「緑」の樹木が凶器にもなりうる二面性が強くなりました。だからこそ市井の人々が正しい知識で貴重な「緑」を守り育てていくことが重要だと感じます。



令和 秋の寄せ植え 『ギャザリング』講習会に参加して

ほおじろ台自治会「花と緑の同好会」
山形 勝男

始めて聞く「ギャザリング」うむ？..

早速親交のある大野さん(講師)に伺うと、根付き植物を花束のように組み合わせる新しい寄せ植えの技法ですよと教えてくれました。

私の住むほおじろ台自治会の「花と緑の同好会」は花と緑を愛でる集団で、花壇づくりやコンテナ、ハンギング等の寄せ植えなどを活発に楽しんでおり、千葉市花壇コンクールで2年連続市長賞を戴くほど情熱的に活動しています。今回、大塚さん、蓬田さんを誘い3名で参加させて頂きました。

今回の花材は、ガーデンシクラメン、ジュリアン、ミニ葉ポタン各1苗、ビオラ3苗、台風15号・19号の影響で花苗準備に大変苦労された様子でした。

講師の根鉢を大胆に崩して小さくしょうの発声のもと、参加者は戸惑いながらも根鉢を崩しはじめ各々が仕上がりをイメージしながら、和気あいあいと植栽を開始し、個性豊かなギャザリングが出来上がりました。

最後に、花苗の選び方や、植栽後の管理方法花がら摘み、追肥(葉ポタン近くはNG)等々貴重なアドバイスを得ることができました。次回の講習会を楽しみにしております。



サルビア会の活動状況

千代の台自治会(サルビア会)
富士田 英夫

我が千代の台自治会は千葉市の一番北西部に位置し花見川河川の畔にあり、対岸は八千代市になります。河川の畔には桜の花と菜の花が咲き乱れ、川面にカワセミ、渡り鳥などが見られます。ぜひ散策に来てください。

自治会にサルビア会があり平成15年度に千葉市の花壇コンクールに参加し最初から入選し皆の気持ちが盛り上がり現在も続いています。

平成27年当時は、緑政課主催の花壇コンクールに参加し良い成績を収め会員も30名近くなりました。しかし当自治会も高齢化の波には勝てず現在にいたっています。

平成から令和に代わり何か記念になることをやろうと婦人部から話があり、地域リーダーの会の大野事務局長、古賀さん吉田さんの協力出張園芸講習会を実施しました。



令和元年度緑化推進に関する講演会

令和2年2月16日(日)に「**花の咲く木**」と「**実のなる木**」の育て方と管理(植栽管理と病害虫対策)というテーマで、講演会を開催しました。

講師に、「NHK趣味の園芸」テキスト執筆等広く活躍しておられる「園芸病害虫研究の第一人者」である住友化学園芸株式会社の草間祐輔氏をお迎えし主な花木・果樹の育て方と管理のポイントや病害虫の対処方法等について分かりやすく解説していただきました。

花木については、剪定の時期と方法について、果樹については「葉果比」と「摘果」について、病害虫対策については原因がなんであるかを見極めて対応することが大切であり、カイガラムシなどは、物理的に竹べらなどで削り落とすとなど「総合防除」という考え方で薬を使う前にやることがあり、次の手段として薬を使うとよいと教えていただきました。

薬剤も適用を確認し正しく使うよう説明があり、最後にジャンケンに勝った参加者に、ご持参された薬剤のプレゼントがありました。



植栽活動から生まれた空き敷地の花壇化!!

千葉中央フラワーマンション自治会 阿部 美恵子

千葉中央フラワーマンションは平成6年に竣工した55世帯が居住するマンションです。こじんまりとした敷地にはほどよく樹木が植樹されていますが、一部長年何も利用できずにいた敷地があります。樹木があるため除草しにくく雑草が生え放題で、居住者や業者に依頼し処理している状況です。

そこで何とか有効に利用できないかと、1つの方法として花壇化し景観を高めたいと考え専門家の先生にアドバイスをいただく事になりました。当日は現地を見ていただき、まず数本の木を伐採し雑草を枯らしてから防草シート(水は通すが光は入らない)を全面に敷きつめる事で雑草対策をするように。また、花壇や菜園として利用する場合はシートの上に木やレンガ等で枠組を作り土を入れ高さのある花壇にすると良い。そして敷地内の周囲や樹木の足元には宿根草をメインに、春～秋のいつでも花が咲くようにすると良いとご指導をいただきました。

現在デザイン化を進め検討をしています。



緑と花に関する相談は、以下の施設で専門家の相談員に直接相談できます。

- ・千葉市都市緑化植物園 みどりの相談所 TEL.043-264-9559 Email: ryokka-2@cue-net.or.jp
- ・三陽メディアフラワーミュージアム みどりの相談コーナー TEL.043-277-8776 Email: hanabi-sodan@worldpark.jp.com
- ・千葉県立青葉の森公園 緑の相談所 TEL.043-208-1510 ※相談日時は直接問合せください。

新規会員募集!!

千葉市内の緑豊かなまちづくりに参加しませんか。皆様のご入会をお待ちしております。

☆会員資格 市内の自治会、町内会、マンション管理組合、個人

☆会費(年)は1団体の戸数により定めています。

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|-----------|
| ①199戸以下 | 3,000円 | ②200～299戸 | 5,000円 |
| ③300～499戸 | 8,000円 | ④500戸以上 | 15,000円 |
| ⑤個人会員 | 1,000円 | ⑥賛助会員 | 1,000円/1口 |

・個人会員は、市民どなたでも会員になれます。ご自身が所属する自治会、管理組合等が会員になっていても個人会員になれ、当協議会からの案内が直接届くようになります。

・賛助会員は、企業、団体、個人等で当協議会を応援していただける方々です。

☆問合せ/入会申込先 千葉市緑化推進協議会事務局「みつとみ」

TEL.090-6517-8555 FAX.043-253-3815

Email: c.ryokkasuisin@gmail.com ホームページ

千葉市緑化推進協議会

検索